



# 県境8キロをカヌーで制覇

8月6日、第22回カヌー長島海峡横断大会が開催され、町内の小学生から一般までの45人が、熊本県天草市の牛深港から蔵之元港までの8キロをカヌーで横断しました。

毎年、この大会に向けてカヌー教室が開かれ、選手たちは暑さに負けず練習を積んできました。当日は、体力に依りて4キロで交代する選手と8キロを一人で漕ぐ選手に分かれて、海峡横断に挑みました。蔵之元港で開会式が行われた後、選手たちはフェリーで牛深港へ渡ってカヌーに乗り込み、隊列を整えて出発のときを待ちました。潮の流れが緩やかになったころ、天高く

花火が打ち上げられ、一斉にスタート。この日は海面も穏やかで、カヌーの列はアメンボのようにスイスイと進んで行きました。

途中、30分ごとに休憩をとりながら蔵之元港を目指し、すれ違うフェリーからの声援には、全員でオールを立ててこたえていました。

選手の到着を待つ家族らが大勢詰めかけた蔵之元港には、出発から約2時間後に到着。一人の脱落者を出すこともなく、全員無事にゴールしました。

こんがりとした焼けた選手には完漕賞が贈られ、ひと夏の挑戦が終了しました。

## ■編集後記

▽韓国友好親善訪問団の一員として、私も吉祥面を訪問しました。現地の方々の手厚い歓迎に驚きながらも、姉妹盟約を結び、交流を積み重ねてきた結果、ここまで親しくなれたのだと感じました。▽吉祥面のある江華島は、北朝鮮との国境にあります。島の北部一帯には鉄柵が張り巡らされていて、韓国はまだ戦争が身近な国であることを知りました。同じ民族が2分されている朝鮮半島。小さな交流を積み重ね、親しくなる日がくると良いですね。(濱口)